

**「社会のため 未来のため 心豊かに生きるため 今、「わたしたち」にできることは何だろうか？
～SDGs をプラットホームにして～」**

| | | | |
|-----------------|-------------------------|----------|--------------------|
| 氏名 | 木村 美奈子 | 学校名 | 茨城県 神栖市立波崎第二中学校 |
| 担当教科等 | 音楽 | 対象学年(人数) | 2学年 (51名) |
| 実践年月日もしくは期間(時数) | 2022年11月20日～11月30日(5時間) | | |

【実践概要】

| | |
|--|--|
| 1. 実践する教科・領域:総合的な学習の時間 | |
| 2. 単元(活動)名 :「働くということ ～自分の生き方を見つめて～」 | |
| 3. 授業テーマ(タイトル)と単元目標 授業テーマ:「社会のため 未来のため 心豊かに生きるため 今、「わたしたち」にできることは何だろうか？ ～SDGs をプラットホームにして～」 単元目標:SDGs と現状にある問題やその解決のための様々な取組を関わらせて学び、社会や未来をよりよくするために自ら行動しようとする意欲や主体的な態度を育てる。 関連する学習指導要領上の目標:探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 | |
| 4. 単元の評価 規準 | ①知識及び技能 ②SDGs が現代の社会問題や環境問題を示していることや、それぞれが解決のために努力して社会や未来をよりよくすることができることなどを理解している。 ③SDGs と自分の生活とを関わらせて考える。自らの行為が社会や未来に関わっていることに気付いている。 |
| | ②思考力、判断力、表現力等 ①興味をもった課題の解決方法について、結論に対する根拠を明確にししながら自分の考えを主張している。 |
| | ③学びに向かう力、人間性等 ①興味をもった課題について、分かったことや伝えたいことを明確にして資料を作成しようとしている。 |
| 5. 単元設定の理由・単元の意義 (生徒観、教材観、指導観) | <p>【単元設定の理由】 本校では、総合的な学習の時間を、キャリア教育の視点からよりよく問題を解決する資質や能力を養い、主体的・創造的・協働的に取り組む態度を育成しながら、生徒一人一人が自己の生き方を見つめ、考える学習の時間と位置付けている。2学年では、「働くということ～自分の生き方を見つめて～」をテーマとして課題解決学習を行い、必要な情報・資料の収集と取捨選択や目的に応じた表現方法などの知識・技能を身に付けながら探究学習のよさを理解したり、職場体験を通して働く意味を理解したりしながら地域社会の一員として地域の方と交流し、たくましく生きる態度を養っている。 そこで1学期は、夏休みに予定していた職場体験学習に向け、働くことの意味を考えたり、自分の興味関心や適性をもとに体験する職場を選んだり、準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、実施が延期となってしまった。実施までの期間に、環境や社会問題への具体的な配慮が求められる現状を知り、未来の職業人として生きる生徒たちがより主体的に、または広い視野をもって職場体験学習に望むことで、よりよい社会の実現に向け、生徒は自己の生き方を見つめることができると考え、本単元を設定した。</p> <p>【単元の意義】 SDGs と現状にある問題やその解決のための様々な取組を学んだり、生徒自身がこれまで学んできた環境保護や社会問題解決のための取組と17の目標との関わりを知ったりすることで、社会や環境の問題をより広い視野で理解できるようにする。 このように、SDGs の17の目標をプラットホームにして生徒が社会問題や環境問題を知ったり、考え直したりすることで、中学生である生徒達が、社会や未来をよりよくするために自ら行動しようとする意欲や、主体的な態度を育てることをねらいとする。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>【児童／生徒観】 アンケート調査を行ったところ、ほとんどの生徒は、よりよい社会や環境のために何かしようと考えていて、SDGs についても半数近くの生徒が知っているということが分かった。また、半数以上の生徒が、差別、自然、環境の問題に興味があると回答した。</p> <p>【指導観】 以上のことから、社会のために自ら役に立ちたいという生徒の意思を大切にしながら具体的な活動に結び付けていく。日常生活や学習を通して自らがすでに SDGs と関わっていることを確かめ、これまでの個の取組を仲間と協力する集団の取組へとステップアップさせることで、目標や目的をもって自ら行動しようとする積極性、周囲と協力して目的・目標を達しようとするリーダーシップを高め、生徒が、未来の職業人としてよりよい社会の実現に向けて自己の生き方を見つめられるようにする。</p> |
|--|---|


6. 単元計画(全5時間)

| 時 | 小単元名 | 学習のねらい | 学習活動 | 資料など |
|----------------|-------------------------------------|---|---|--|
| 1 | 環境や社会に関する問題を考える | 環境や社会に関する問題を考え、課題解決の取組がよりよい社会や未来の実現につながることに気付く。 | 1 環境問題や社会問題に気付く。 ・アクティビティ1 「ものはどこから」 ・アクティビティ2 「15年前の世界と今の世界」 2 SDGsを知る。 | ・「ものはどこから」カード(JICA) ・「先生・ファシリテーターのための持続可能な開発目標-SDGs-アクティビティ集」 |
| 2 | 問題解決の様々な取組を知る。 | 興味をもった課題の解決方法について、見つけた資料をもとに、根拠を明確にして説明する。 | 1 問題解決の取組を調べる。 ・インターネットと書籍で調べる。 ・ロイロノートにまとめる。 2 調べたことを伝え合う。 | |
| 3 | 企業の取組を知る。 | 現代の社会問題や環境問題の解決に向けた様々な努力や取組を理解する。 | 1 ダイキン工業の説明を聞く。 2 昭和産業の説明を聞く。 3 神栖市の説明を聞く。 | |
| 4 5 (本時) | 「社会のため、未来のために心豊かに生きるためにできること」を発信する。 | 興味をもった課題について、分かったことや伝えたいことを明確にして資料を作成し、分かりやすく伝えようとする。 | 1 グループで、話し合う。 ・SDGs 17 のゴール別にグループを作る。 ・提案をまとめる。 2 「社会のため 未来のために 心豊かに生きるために 私たちができること」を共有する。 3 単元の振り返りをする。 | |

7. 本時の展開(4、5時間目)

本時のねらい: よりよい社会と未来、心豊かに生きるためにできることを主体的に考えながらまとめることができる。

| 過程・時間 | 教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態 | 指導上の留意点(支援) | 資料(教材) |
|---------|--|---|--------|
| 導入(20分) | 1 これまでの学習を整理する。 T: まず、カードゲームとプリントで、私たちの身の周りの物の多くは外国からきていることやプリントを使って私たちの国は世界の中では課題が多い国だということを知りました。授業中、「俺ら何も知らねえ…」とか「日本めっちゃ遅れてる！」とか、つぶやきがありました。その後、社会や環境の問題とその解決の取組を調べて | ・学習の系統性を確認する。 ・授業中でのつぶやき、学習カードの振り返りなど、生徒の気付きの声や言葉を織り交ぜて話すことで、主 | |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | <p>各自まとめてもらいました。そして、前はダイキン工業、昭和産業、神栖市役所の方々から、それぞれのSDGsの取組について、教えていただきました。そして、いよいよ今日から、じゃあ自分たちは何ができる？ということで、中学生の君たちが、学んできたことを生かして、社会や環境のためにできることを発信しましょう。</p> <p>2 本時のめあてと学習の進め方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「社会のため、未来のため、心豊かに生きるためにできること」を発信しよう。</p> </div> <p>T: 自分たちにできることは何か、それを考えるヒントが2時間目の調べ学習のまとめです。いくつか紹介します。 T: 自分が取り組んでみたいことをSDGs 17のゴールに結び付けましょう。ポスターはロイロノートで作成しますが、見る人の意欲が高まるように工夫してください。 〔ポスターづくりのポイント〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ①活動の意味付け ②写真や資料の活用 ③投げ掛けの言葉 <p>3 グループで話し合う。</p> <p>(1)SDGs 17のゴール別にグループを作る。 T:SDGs 17のゴール別にグループになりましょう。それぞれ意見を確かめて、グループとして、何に取り組むべきかを決めて、ポスターを作成していきましょう。 (2)グループで提案をまとめ、ポスターを作成する。</p> <p>4 「社会のため 未来のため 心豊かに生きるために 私たちにできること」を共有する。 作成したポスターを使い、取組を提案する。</p> <p>5 単元の学習を振り返る。 T: 発表ありがとうございました。発表の中で、○番を解決することが○番の解決にもなることに気づき、SDGs17のゴールはそれぞれ別々の問題ではなく、関係していることに気付いたという意見がありましたね。17のゴールを意識して考える学習の経験ができたからこそその気づきだと思いました。また、現在取り組んでいる活動をSDGsと繋げて紹介し、価値付ける発表もありました。 T: 学習カードに単元の振り返りを書きましょう。</p> | <p>体的な学習の雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果物をつかってアイデアを紹介し、自分たちにできることを見いだせるようにする。 ・SDGs 17のゴールを使って個人の考えをカテゴライズすることで、グループ分けしやすくする。 ・他教科等の学習経験を生かせるようにする。 <p>・全てのグループを回り、取り組みたい根拠がはっきりと伝わるか、有効な写真や資料が添付されているか等について、アドバイスをする。</p> | |
| <p>8. 評価規準に基づく本時の評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味をもった課題について、分かったことや伝えたいことを明確にして資料を作成しようとしている。 ・【主体的な取組】〔発表・成果物(ポスター)〕 | | | |
| <p>9. 学習方法及び外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイキン工業株式会社 鹿島製作所 保安全管理課 ・昭和産業株式会社 鹿島工場 管理課 ・神栖市役所 政策企画課 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">【ゲスト講師による講義の様子】</p> | | |

| |
|--|
| 10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 |
| ・環境教育に関する講話: 有限会社ドンカメ代表取締役 小久保行雄様を講師にお招きして |
| ・SDGsコーナーの設置 |
| ・生徒作成のポスターの掲示 |

【自己評価】

| | |
|------------|---|
| 11. 苦労した点 | ・学年や学級を担当していないので、授業時間や事後の実践を行うため時間確保が難しい。 |
| 12. 改善点 | ・授業では、社会や環境の問題を生徒の「自分事」にすることができていない。今後の実践にあたって、取組を具体的にしていったり、実際に活動したりすることで、しっかりと「自分事」化する。 ・ポスター発表を相互評価する場を設けられなかったため、具体的な実践の前に今回の学習の成果物であるポスターを互いに評価し、吟味する場を設け、より有用で有効な活動になるようにする。 |
| 13. 成果が出た点 | ・アンケートで、「よりよい社会や環境のために何かしようと考えている」と答える生徒が、学習前は 89.1%だったが、学習後に 100%になった。 ・事前のアンケートで、「SDGs を知っている」と答える生徒が 54.3%だったが、学習後のアンケートでは、「SDGs について分かった」と答える生徒が 96.4%になった。 |

| | |
|---------------------------------|---|
| 14. 学びの軌跡(児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど) | <p>【単元の振り返りより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs について、何も知らない状態だったが、総合の時間を通して関心が深まり、自分たちや学校全体で取り組める行動を、調べた結果をもとに考えることができた。 ・これから生きていく自分の国、世界のためにも、少しずつ自分でできることを取り組めるようにしたいです。 ・発表を聞いて、私たちができることはたくさんあるなと思いました。知らなかったことや知っていることでも、改めてすごく大切なことなんだと発表を聞いていて思いました。 ・発表した問題以外の解決方法が知りたいので、全ての 17 の問題をなくすように調べて、解決できるように、自分ができることは率先して行っていきたい。 ・例えば、プラスチックのリサイクル、海をきれいにするためのゴミひろい、フードロスの食べ残しなど私たちは、今すぐできることがたくさんあります。他にも募金活動など、私たちでもできることを探して、少しでも問題の解決に繋がるようにしたいと思いました。 ・今「私たち」にできることは、身の回りのことをしっかりと見て気を付けて生活すること、そして環境に気を付けて生活することだと思いました。 ・SDGs は規模がデカくて自分たちができることはなさそうに見えるけど、自分たちにもできる事があって、逆に一人一人の力が必要で、一つの目標のクリアが他の目標に繋がっていることがある。 |
|---------------------------------|---|

【成果物より】

The image shows two posters created by students. The left poster, titled '2班 緑豊かな街作り' (Class 2 Green Rich Street Making), focuses on SDG 15 (Life on Land). It discusses the loss of biodiversity and the importance of local activities like planting white pine trees. It includes a small chart showing the number of species and a photo of a garden. The right poster, titled '「つくる責任 つかう責任」で個人ができることは?' (With 'Responsibility for Making, Responsibility for Using', What Can Individuals Do?), focuses on SDG 12 (Responsible Consumption and Production). It discusses responsible consumption, such as choosing products with FSC labels and reducing waste. It includes a small chart showing the number of products and a photo of a recycling bin.

| | |
|-----------------------|---|
| | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>社会のため 未来のため 心豊かに生きるため 「わたしたち」にできること</p> <p>グリーンカーテンとまちづくり</p> <p>夏深く暑くて運動する時など大変でしたよね？ 今地球では地球温暖化が進んで北極の水が溶けてしまったり、暑すぎて木が燃えてしまったりしています。</p> <p>『私たちができること』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンを控えめにする。 ・ 人のいない電気は消す ・ なるべく大きい自動車に乗る <p>・ 木を植える ・ グリーンカーテンを作る</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>社会のため 未来のため 心豊かに生きるため 「わたしたち」にできること</p> <p>ヤングケアラーについて</p> <p>内容：ヤングケアラーとは、障害を持った家族の介護や必要以上の家事の手伝いなどを行っている子供の事です。ヤングケアラーの殆どが、自覚がなく中学生の17人に1人がヤングケアラーになってしまっています。</p> <p>ヤングケアラーの予兆として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れ物が多い ・ 学校を休みがち ・ 宿題ができていないことが多い <p>という例が挙げられます。周りにもし気になる人がいたら気を付けてあげてほしいです。</p>  </div> </div> |
| <p>15. 授業者による自由記述</p> | <p>教師国内研修を通して、国際教育や環境教育を進めるにあたっては、いかにして生徒の「自分事」にできるかが重要だと感じ、授業実践に取り組んだが、やはり話を聞いたり、調べたり、考えたりするだけでは、とても難しい。生徒は実体験することで「自分事」化できると思うので、私の授業実践は「道半ば」である。周囲に理解を得て実践するための時間を確保し、生徒のアイデアを実践に結び付けていく。</p> |

参考資料：

- ・『特集 基礎から分かる SDGs』(月刊「日本教育」令和4年 10月号 No.521)ESD・SDGs 推進研究室 室長 手島利夫 著
- ・『持続可能な開発のための教育(ESD)推進の手引』令和3年5月改訂文部科学省国際統括官付日本ユネスコ国内委員会
- ・『持続可能な開発目標(SDGs)実施指針』